

2024年度 産業保健研修のご案内(2024年10月～2024年11月)

島根産業保健総合支援センターでは、看護職・産業保健・労働衛生業務等に携わる皆様を対象に研修会等を開催しています。産業保健に関係するすべての方に対し専門的かつ実践的能力の向上を図ることを目的に実施するものです。

諸般の事情により、研修会を中止、延期する場合は、当センターのホームページにてお知らせいたします。

※お申込をいただいている方には、電話・メール等でご連絡いたします。

研修番号	日時	テーマ	講師・研修内容	会場	定員
23	10月12日 (土) 14:00～16:00	メンタルヘルスの両立支援 ～ケーススタディ 気づきから職場復帰 のプロセス～	・吉積 宏治 産業保健相談員(吉積労働衛生コンサルタント事務所 代表) どのタイミングで管理監督者が従業員のメンタル面の不調に気づくことができたかによって、重症化や長期休業化を軽減することができる。気づきを促すことや、精神科・心療内科などの専門医療機関との連携、休業中から職場復帰を目指す復職支援のプロセス、また職場復帰後の継続的な就業のための取り組みについて、ケーススタディをもとに進めていきます。	いわみーる 101研修室 【浜田市】	30名
24	10月17日 (木) 14:00～16:00	過重労働者への面接指導と報告書作成の実務	・磯村 実 産業保健相談員(島根大学 人間科学部 人間科学科 教授) 過重労働者支援のため、面接技術と報告書作成スキルを実践的に習得し、現場での応用力を高めることを目指します。具体的な事例を用いて面接のシミュレーションから報告書を作成していきます。	労働会館 201中会議室 【松江市】	30名
25	10月24日 (木) 14:00～16:00	石綿による疾病の認定基準について	・三浦 元彦 東北労災病院 アスベスト疾患ブロックセンター長 「石綿による疾病の認定基準について」(平成24年3月29日付け基発第0329第2号)に関する説明、職場における石綿ばく露の形態と具体例のほか ア 石綿に関する一般的知識、職種におけるばく露について イ 労災補償制度について ウ 石綿関連疾患の病態、診断及び臨床について	出雲市民会館 302研修室 【出雲市】	30名
26	10月31日 (木) 14:00～16:00	過重労働対策と産業医の役割	・塩飽 邦憲 産業保健相談員(塩飽労働衛生コンサルタント事務所 所長) 労働者に疲労の蓄積を生じさせないようにするため、労働者の健康管理に係る措置を適切に実施することが重要である。このため、厚生労働省においては、平成14年2月から「過重労働による健康障害防止のための総合対策」に基づき所要の対策を推進してきたが、働き方の多様化が進む中で、長時間労働に伴う健康障害の増加など労働者の生命や生活にかかわる問題が深刻化しており、これに的確に対処するため、平成17年に労働安全衛生法等の改正が行われた。この改正に基づいて、産業医等は長時間の時間外労働者を対象に面接指導(過重労働による脳・心臓疾患などの健康障害の発症予防を目的に)を実施することになった。産業医による面接指導の進め方、また働き方改革の事例を紹介する。	松江テルサ 研修室1 【松江市】	30名
27	11月2日 (土) 14:00～16:00	ILO国際じん肺分類2022と国際HRCT分類(ICOERD)を活用した職業性呼吸器疾患の読影実習	・田村 太郎 高知大学 医学部環境医学 特任准教授 日本で用いられているじん肺のレントゲン分類のもとである国際労働機関のじん肺写真分類とそれを補完するために開発されたHRCT分類である国際HRCT分類(ICOERD)を使い、じん肺をはじめとする職業性呼吸器疾患を読影することでその病態の理解を深める。	労働会館 202中会議室 【松江市】	20名
28	11月7日 (木) 14:00～16:00	過重労働者への面接指導と報告書作成の実務	・磯村 実 産業保健相談員(島根大学 人間科学部 人間科学科 教授) 過重労働者支援のため、面接技術と報告書作成スキルを実践的に習得し、現場での応用力を高めることを目指します。具体的な事例を用いて面接のシミュレーションから報告書を作成していきます。	いわみーる 101研修室 【浜田市】	30名
29	11月16日 (土) 14:00～16:00	自律的な化学物質管理に向けた考え方	・山崎 雅之 産業保健相談員(島根大学 人間科学部 人間科学科 教授) 労働安全衛生法施行令の一部を改正する省令(化学物質による労働災害防止のための新たな規制について)が公布されてから2年が経過し、2024年4月1日には完全施行となった。これにより企業では化学物質の自律的な管理義務がある。本研修会では、自律的な管理に向けた実施体制の確立に向け、法改正の根拠や求められる化学物質管理の概念を含め、リスクアナリシス(リスクアセスメント、リスクマネージメント、リスクコミュニケーション)を解説する。	労働会館 201中会議室 【松江市】	30名
30	11月23日 (土) 14:00～16:00	メンタルヘルスの両立支援 ～ケーススタディ 気づきから職場復帰 のプロセス～	・吉積 宏治 産業保健相談員(吉積労働衛生コンサルタント事務所 代表) どのタイミングで管理監督者が従業員のメンタル面の不調に気づくことができたかによって、重症化や長期休業化を軽減することができる。気づきを促すことや、精神科・心療内科などの専門医療機関との連携、休業中から職場復帰を目指す復職支援のプロセス、また職場復帰後の継続的な就業のための取り組みについて、ケーススタディをもとに進めていきます。	出雲市民会館 302研修室 【出雲市】	30名

※ 研修会場では他のイベントと重なり駐車場が利用できないことがありますので、ご了承下さい。

研修会申込書

島根産保 検索



研修のお申込みにつきましてはウェブサイトの申込フォームをご利用いただけますと幸いです。(QRコードからもお申し込みいただけます。)
お申込み後にキャンセルされる場合には、早めにご連絡を頂きますようお願いいたします。(研修会当日の急なキャンセルについては除きます。)
FAXでお申し込みの場合は、下欄にご記入のうえ当センターまで送付願います。ご記入いただいたメールアドレスへ受講票を送付いたします。

希望研修番号		メールアドレス	@
氏名		職種 (○で選択)	1.医療職 2.産業看護職 3.衛生管理者 4.人事労務担当者 5.事業主 6.労働者 7.その他()
勤務先 (名称・所在地)	TEL	()	— (自宅・勤務先)
	FAX	()	— (自宅・勤務先)

※ 島根産業保健総合支援センターの電話番号及びFAX番号 TEL:0852-59-5801 FAX:0852-59-5881

※ 最新の研修案内をメールマガジンで配信しています。メールマガジンの登録は、当センターのウェブサイトからお申し込みください。

※ 本用紙に記載された個人情報、産業保健活動総合支援事業の目的以外には使用いたしません。